

こども若者県政モニター
令和8年度 第2回アンケート結果



岐阜県秘書広報課広聴広報係



令和8年度 こども若者県政モニター 第2回アンケート調査結果

調査実施の概要

1. アンケート期間 令和8年7月8日(水曜日)から7月26日(日曜日)まで

2. モニター数 607人

3. 有効回答者数・回答率 回答者数:398名 回答率:65.6%

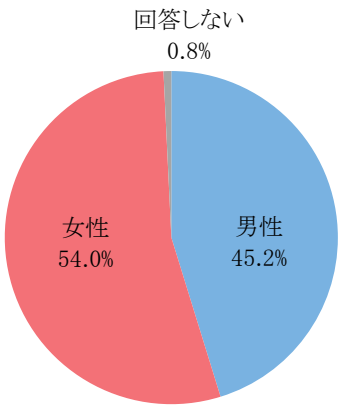
構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。
また、複数回答可の場合、特記のある場合を除き、「回答総数」ではなく「回答者数」を基に算出しています。そのため、合計が100%にならない場合があります。

「有効回答」とは、全ての回答の中から、モニターでない方の回答と、同じ方からの複数回目の回答を除いたものです。調査結果は全て「有効回答」を基に作成しています。

4. 回答者属性

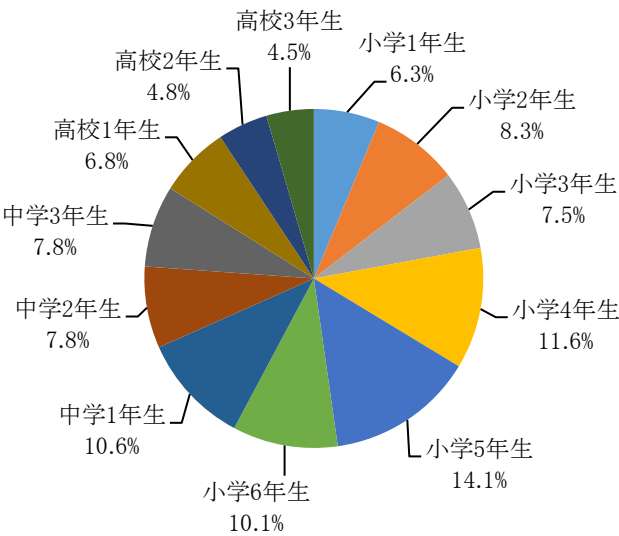
(1)性別

	人数	割合
男性	180	45.2%
女性	215	54.0%
回答しない	3	0.8%
計	398	100.0%



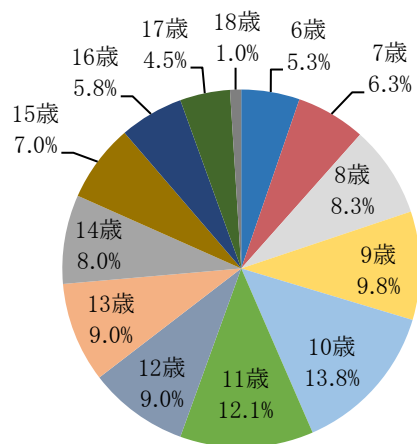
(2)学年別

	人数	割合
小学1年生	25	6.3%
小学2年生	33	8.3%
小学3年生	30	7.5%
小学4年生	46	11.6%
小学5年生	56	14.1%
小学6年生	40	10.1%
中学1年生	42	10.6%
中学2年生	31	7.8%
中学3年生	31	7.8%
高校1年生	27	6.8%
高校2年生	19	4.8%
高校3年生	18	4.5%
計	398	100.0%



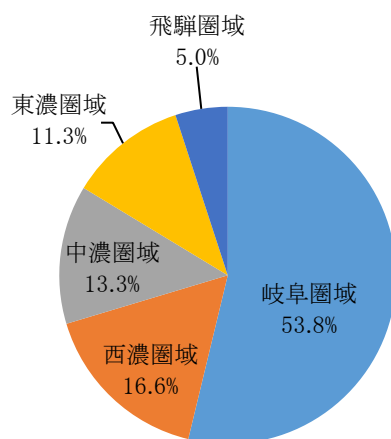
(3)年齢別

	人数	割合
6歳	21	5.3%
7歳	25	6.3%
8歳	33	8.3%
9歳	39	9.8%
10歳	55	13.8%
11歳	48	12.1%
12歳	36	9.0%
13歳	36	9.0%
14歳	32	8.0%
15歳	28	7.0%
16歳	23	5.8%
17歳	18	4.5%
18歳	4	1.0%
計	398	100.0%



(4)居住圏域別

	人数	割合
岐阜圏域	214	53.8%
西濃圏域	66	16.6%
中濃圏域	53	13.3%
東濃圏域	45	11.3%
飛騨圏域	20	5.0%
計	398	100.0%



地球温暖化に関するアンケート

省エネ・再エネ社会推進課

1. アンケート調査の目的

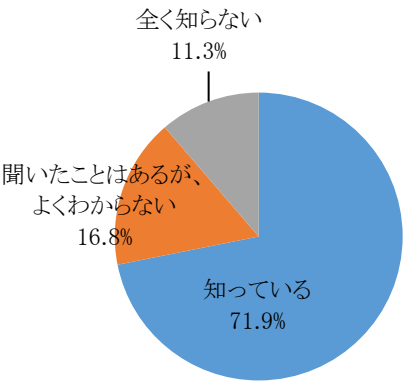
環境学習及び普及啓発に関する施策に活用するため、アンケート調査を実施しました。

2. 調査結果

問1 あなたは、地球の温暖化について知っていましたか。

回答者 398 人

	人数	割合
知っている	286	71.9%
聞いたことはあるが、よくわからない	67	16.8%
全く知らない	45	11.3%
計	398	100.0%

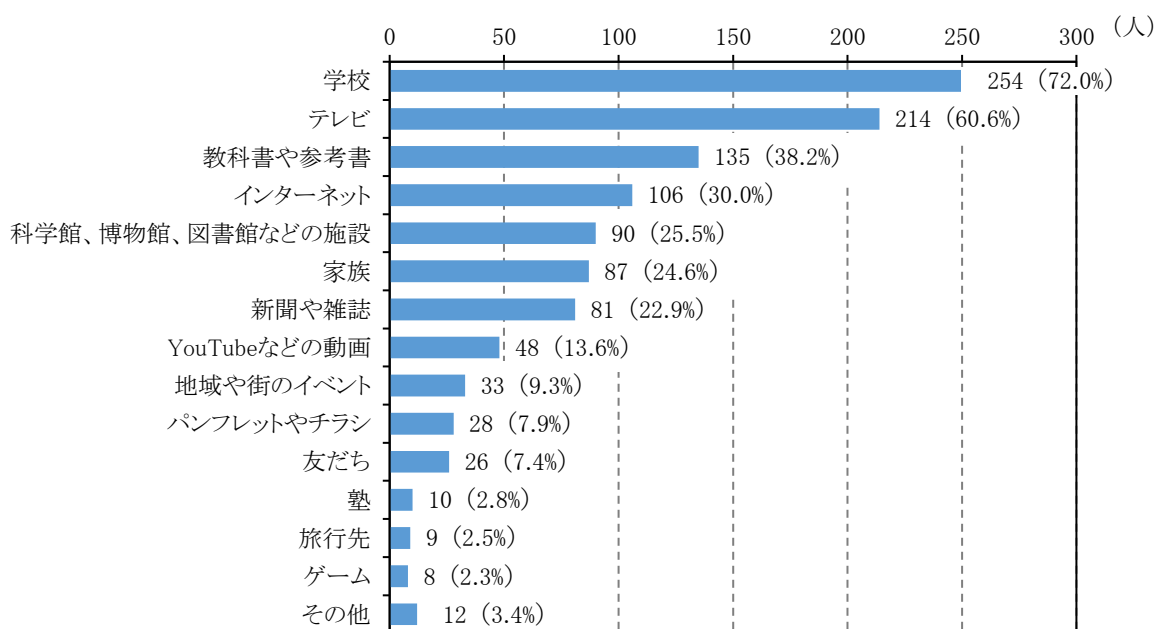


(「知っている」「聞いたことはあるが、よくわからない」と答えた方)

どこで知りましたか。

回答者 353 人 (複数回答)

	回答数	割合
学校	254	72.0%
テレビ	214	60.6%
教科書や参考書	135	38.2%
インターネット	106	30.0%
科学館、博物館、図書館などの施設	90	25.5%
家族	87	24.6%
新聞や雑誌	81	22.9%
YouTubeなどの動画	48	13.6%
地域や街のイベント	33	9.3%
パンフレットやチラシ	28	7.9%
友だち	26	7.4%
塾	10	2.8%
旅行先	9	2.5%
ゲーム	8	2.3%
その他	12	3.4%
計	1,141	—



「その他」のうち主なもの

・ 本 ・ 絵本 ・ ラジオ

～結果の概要～

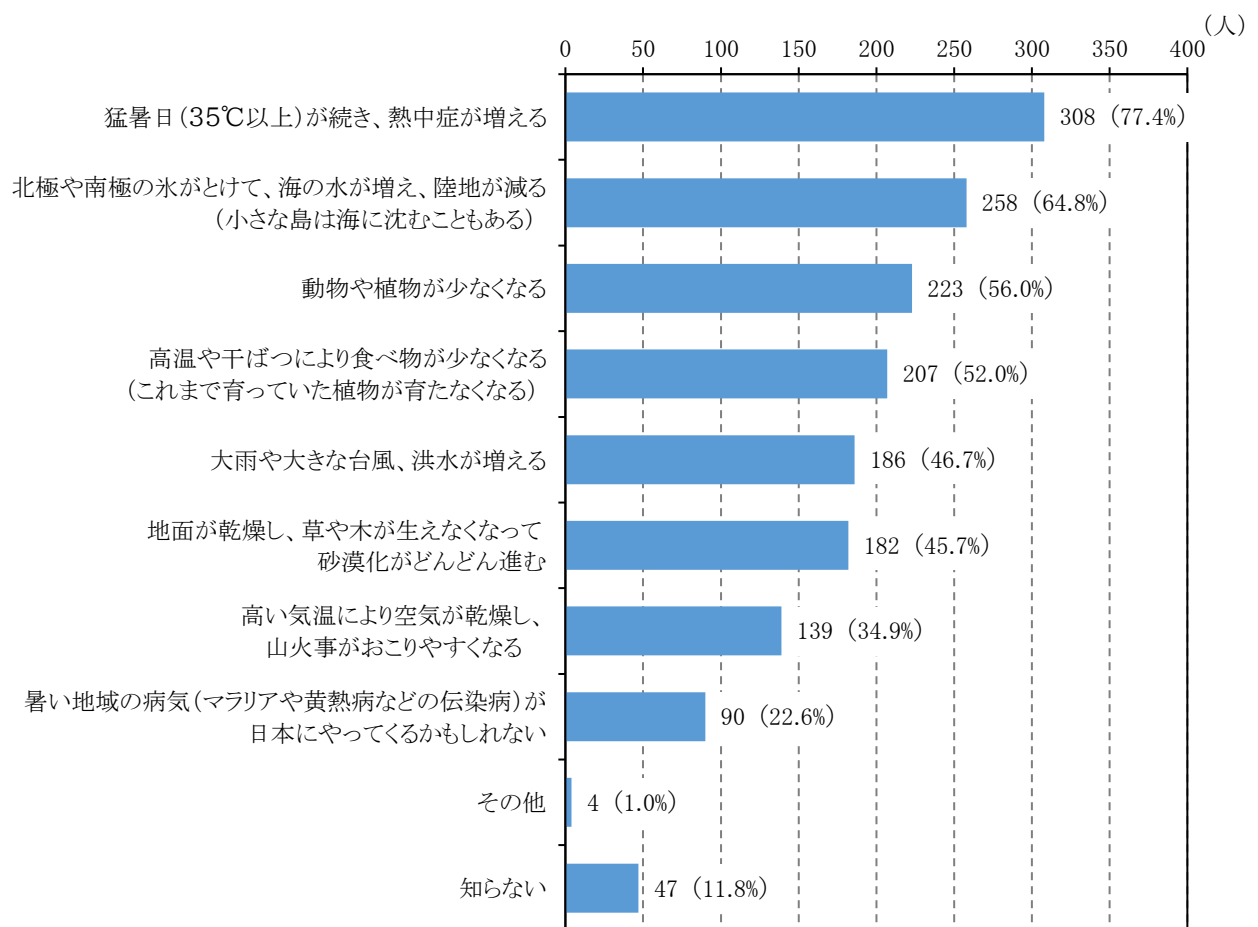
地球温暖化について、全体の88.7%が「知っている」又は「聞いたことはあるがよくわからない」と回答した。

どこで知ったかについては、「学校」が72.0%と最も多く、次いで「テレビ」(60.6%)、「教科書や参考書」(38.2%)、「インターネット」(30.0%)の順となっている。

問2 地球の温暖化による地球環境の変化について知っていることはありますか。

回答者 398 人(複数回答)

	回答数	割合
猛暑日(35℃以上)が続き、熱中症が増える	308	77.4%
北極や南極の氷がとけて、海の水が増え、陸地が減る(小さな島は海に沈むこともある)	258	64.8%
動物や植物が少なくなる	223	56.0%
高温や干ばつにより食べ物が少なくなる(これまで育っていた植物が育たなくなる)	207	52.0%
大雨や大きな台風、洪水が増える	186	46.7%
地面が乾燥し、草や木が生えなくなって砂漠化がどんどん進む	182	45.7%
高い気温により空気が乾燥し、山火事がおこりやすくなる	139	34.9%
暑い地域の病気(マラリアや黄熱病などの伝染病)が日本にやってくるかもしれない	90	22.6%
その他	4	1.0%
知らない	47	11.8%
計	1,336	—



「その他」のうち主なもの

- ・ 海面水温が上がる。
- ・ 氷が溶けて、人間が免疫を持っていない古代のウイルスが蔓延。

～結果の概要～

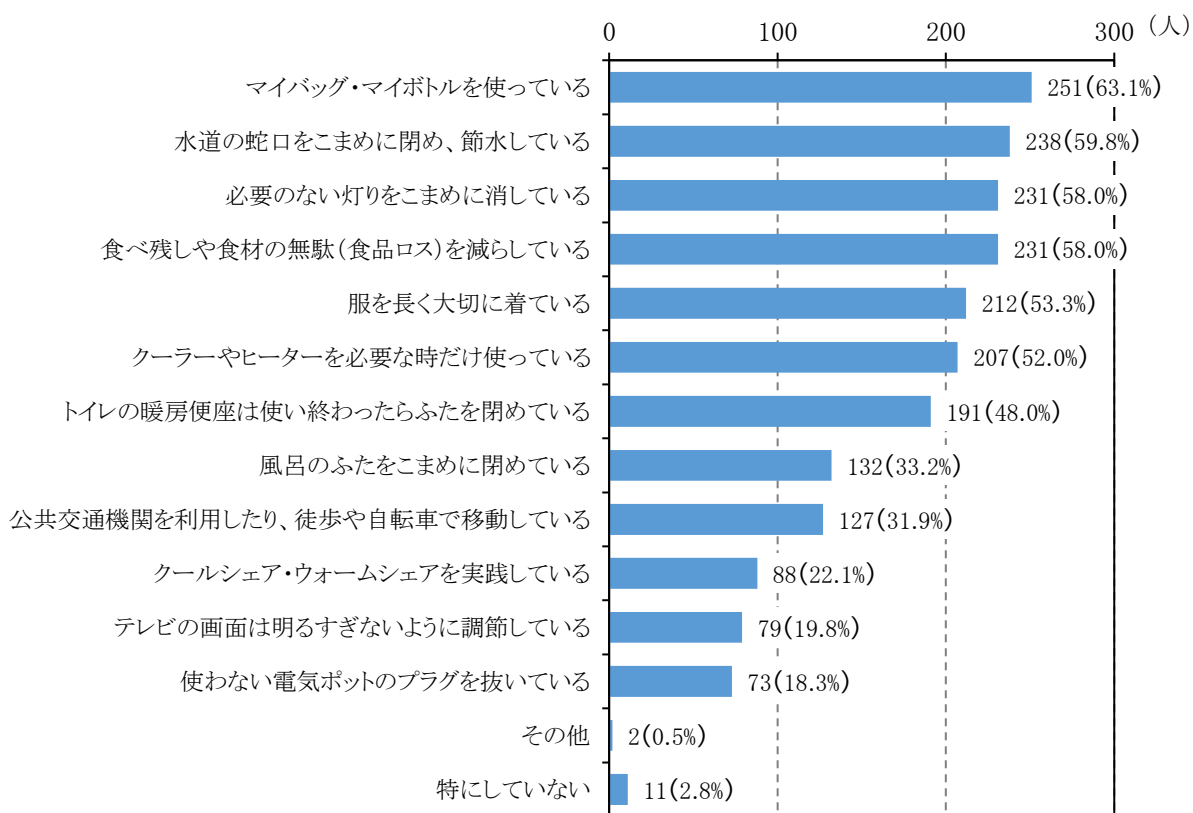
全体の88.2%が地球温暖化による環境の変化について知っていると回答した。

その内容については、「猛暑日が続く、熱中症が増える」が77.4%と最も多く、次いで「北極や南極の氷がとけて、海の水が増え、陸地が減る」(64.8%)、「動物や植物が少なくなる」(56.0%)、「高温や干ばつにより食べ物が少なくなる」(52.0%)の順となっている。

問3 あなたは、環境にやさしい行動をしていますか。

回答者 398 人 (複数回答)

	回答数	割合
マイバッグ・マイボトルを使っている	251	63.1%
水道の蛇口をこまめに閉め、節水している	238	59.8%
必要のない灯りをこまめに消している	231	58.0%
食べ残しや食材の無駄(食品ロス)を減らしている	231	58.0%
服を長く大切に着ている	212	53.3%
クーラーやヒーターを必要な時だけ使っている	207	52.0%
トイレの暖房便座は使い終わったらふたを閉めている	191	48.0%
風呂のふたをこまめに閉めている	132	33.2%
公共交通機関を利用したり、徒歩や自転車で移動している	127	31.9%
クールシェア・ウォームシェアを実践している	88	22.1%
テレビの画面は明るすぎないように調節している	79	19.8%
使わない電気ポットのプラグを抜いている	73	18.3%
その他	2	0.5%
特にしていない	11	2.8%
計	1,584	—



「その他」のうち主なもの

- ・ 小さい植物を植えてみました。
- ・ プラスチックごみをなるべく減らす。

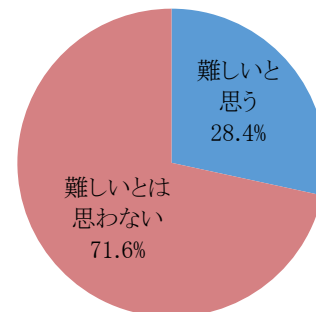
～結果の概要～

全体の97.2%がいずれかの環境にやさしい行動をしていると回答した。
その内容については、「マイバッグ・マイボトルを使っている」が63.1%で最も多く、次いで「水道の蛇口をこまめに閉め、節水している」(59.8%)、「必要のない灯りをこまめに消している」及び「食べ残しや食材の無駄(食品ロス)を減らしている」(58.0%)の順となっている。

問4 あなたは、環境にやさしい行動について、どう感じていますか。

回答者 398 人

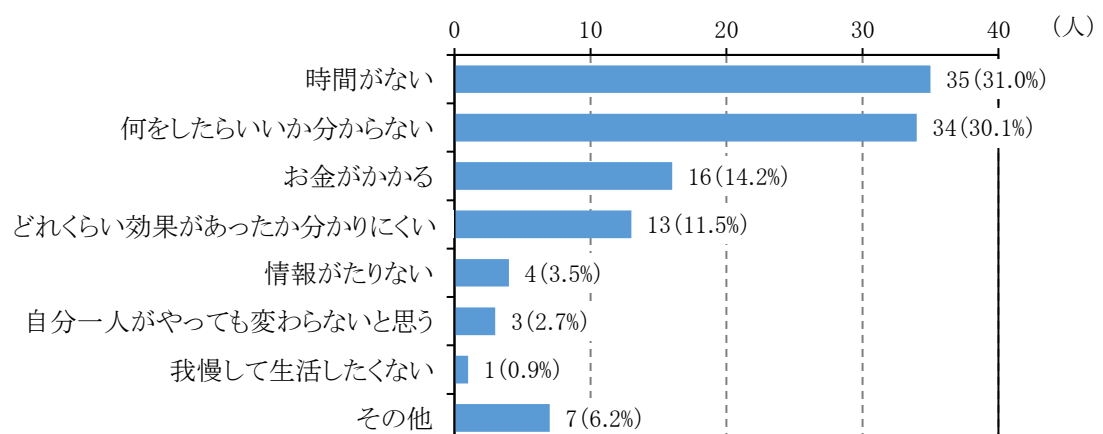
	人数	割合
難しいと思う	113	28.4%
難しいとは思わない	285	71.6%
計	398	100.0%



(「難しいと思う」と答えた方)

「難しいと思う」理由を1つ選んでください。 回答者 113 人

	回答数	割合
時間がない	35	31.0%
何をしたらいいか分からない	34	30.1%
お金がかかる	16	14.2%
どれくらい効果があったか分かりにくい (目に見えない)	13	11.5%
情報がたりない	4	3.5%
自分一人がやっても変わらないと思う	3	2.7%
我慢して生活したくない	1	0.9%
その他	7	6.2%
計	113	100.0%



「その他」のうち主なもの

- ・ 工場とかにエネルギーを使わないといけないから。
- ・ 賃貸などのいろいろな条件により、やりたくてもできないことが多い。
(ソーラーパネル設置や、節水便所への買い替えなどは賃貸だと勝手に改造することになるためにできない。)

～結果の概要～

環境にやさしい行動について、全体の28.4%が「難しいと思う」と回答した。

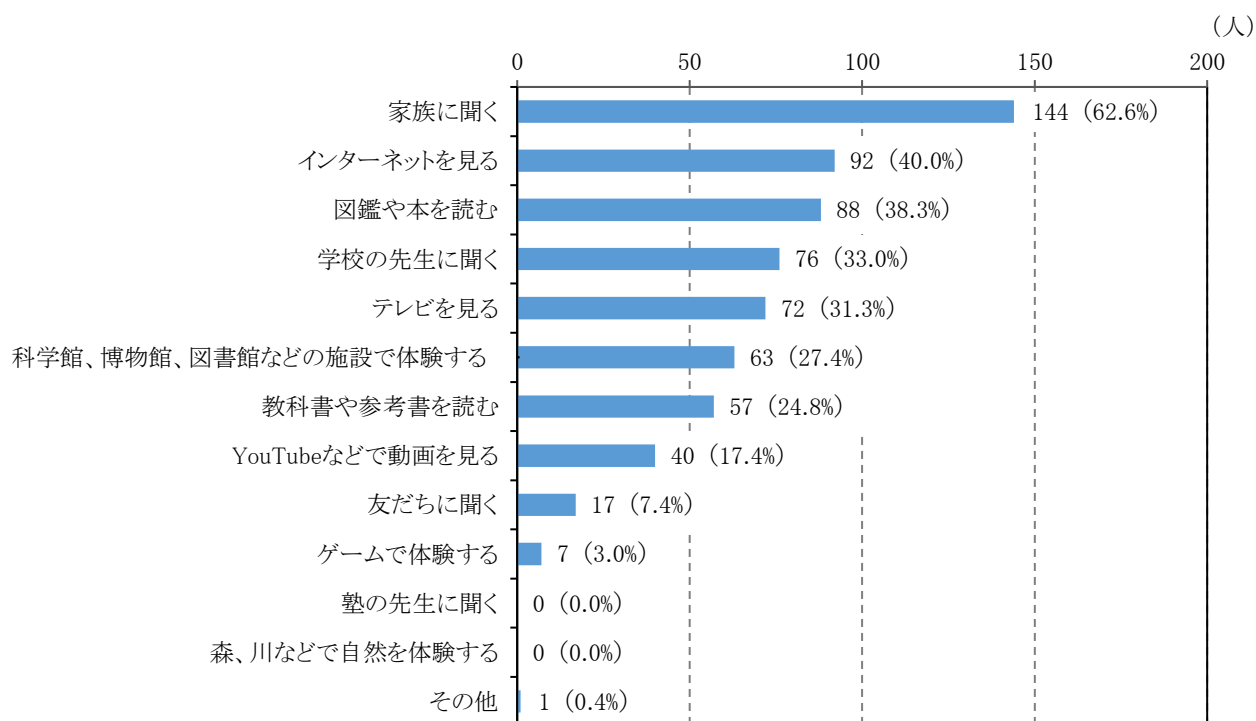
「難しいと思う」理由については、「時間がない」が31.0%で最も多く、「何をしたらいいかわからない」(30.1%)、「お金がかかる」(14.2%)の順となっている。

問5 【小学生】

あなたが地球の温暖化について知りたいと思ったとき、どのような方法で調べますか。

(複数回答) 回答者 230 人

	人数	割合
家族に聞く	144	62.6%
インターネットを見る	92	40.0%
図鑑や本を読む	88	38.3%
学校の先生に聞く	76	33.0%
テレビを見る	72	31.3%
科学館、博物館、図書館などの施設で体験する	63	27.4%
教科書や参考書を読む	57	24.8%
YouTubeなどで動画を見る	40	17.4%
友だちに聞く	17	7.4%
ゲームで体験する	7	3.0%
塾の先生に聞く	0	0.0%
森、川などで自然を体験する	0	0.0%
その他	1	0.4%
計	333	—



「その他」のうち主なもの

- ・ チャットGPT

～結果の概要～

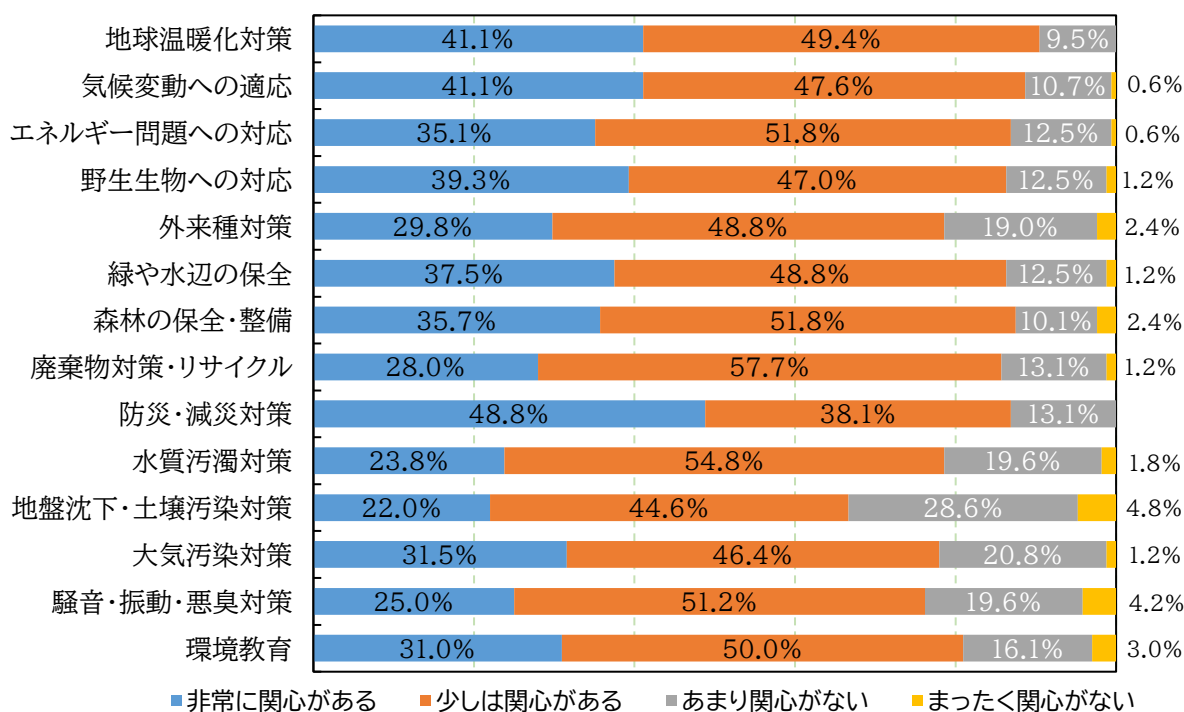
地球温暖化について調べる方法として、「家族に聞く」が62.6%で最も多く、次いで「インターネットを見る」(40.0%)、「図鑑や本を読む」(38.3%)、「学校の先生に聞く」(33.0%)、「テレビを見る」(31.3%)の順となっている。

問5【中学生・高校生】

あなたは、地球温暖化など環境に関する以下の項目について、どの程度関心がありますか。

回答者 168 人

	非常に 関心がある		少しは 関心がある		あまり 関心がない		まったく 関心がない		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 地球温暖化対策	69	41.1%	83	49.4%	16	9.5%	0	0.0%	168	100.0%
2 気候変動への適応	69	41.1%	80	47.6%	18	10.7%	1	0.6%	168	100.0%
3 エネルギー問題への対応	59	35.1%	87	51.8%	21	12.5%	1	0.6%	168	100.0%
4 野生生物への対応	66	39.3%	79	47.0%	21	12.5%	2	1.2%	168	100.0%
5 外来種対策	50	29.8%	82	48.8%	32	19.0%	4	2.4%	168	100.0%
6 緑や水辺の保全	63	37.5%	82	48.8%	21	12.5%	2	1.2%	168	100.0%
7 森林の保全・整備	60	35.7%	87	51.8%	17	10.1%	4	2.4%	168	100.0%
8 廃棄物対策・リサイクル	47	28.0%	97	57.7%	22	13.1%	2	1.2%	168	100.0%
9 防災・減災対策	82	48.8%	64	38.1%	22	13.1%	0	0.0%	168	100.0%
10 水質汚濁対策	40	23.8%	92	54.8%	33	19.6%	3	1.8%	168	100.0%
11 地盤沈下・土壌汚染対策	37	22.0%	75	44.6%	48	28.6%	8	4.8%	168	100.0%
12 大気汚染対策	53	31.5%	78	46.4%	35	20.8%	2	1.2%	168	100.0%
13 騒音・振動・悪臭対策	42	25.0%	86	51.2%	33	19.6%	7	4.2%	168	100.0%
14 環境教育	52	31.0%	84	50.0%	27	16.1%	5	3.0%	168	100.0%



～結果の概要～

「非常に関心がある」又は「少しは関心がある」と回答した人の割合は、「地球温暖化対策」が90.5%で最も高く、次いで、「気候変動への適応」(88.7%)、「森林の整備・保全」(87.5%)、「エネルギー問題への対応」及び「防災・減災対策」(86.9%)の順となっている。

問6 地球の温暖化についての意見や、地球の温暖化を止めるためのアイデアがあれば教えてください。

- ・地球温暖化という問題はみんなも知っているけれど、自然のことも多くて対処しきれないところもあるから、節水節電のように小さなことを小さなことだと思わないで生活することが大切だと思います。
- ・電気や水道の無駄遣いは大人になって急に意識して取り組むことではなく、子供の頃から日常の習慣にできるようにすることが大事だと思う。
- ・すでに温暖化の影響が出ている今、なかなかその環境のなかで行動するのが大変だと感じています。何をどうすると、どう良く働くことになるか具体的に分かったり取り組み甲斐がある気がします。あと、なんかポイント制とかにすると子供でも取り組みやすい気がします。
- ・温暖化対策するのは節水節電したり、燃やしたりしないことだけど、完全にやらないようにするのは難しいなと思います。けれど、どうしても温暖化進行してしまった時を考えたほうがいいと思います！
- ・野菜のくずや魚の骨、食べ残しなどを段ボールに入れてたい肥にすると、ごみが減り、野菜も育てられるので環境によいと思います。
また、本を大切に読んで長く使うことも大切だと思います。紙をすてたり燃やしたりする量が減れば、環境にもやさしいと思います。
- ・木を植える量を増やして、緑を増やす。自然のエネルギーを使う（太陽光発電）。毎年夏が暑くなっていくのが大変。
- ・ひとりひとりが他人ごとではなく、自分のこととして温暖化でどのようなえいきょうが出るのか、どんな対策ができるのか学校で話し合ったり、体験できるゲームやYouTubeがあるとわかりやすいと思う。
- ・一定の明るさになったら、自動で電気がついたり消えたりするシステムを作って、それを会社、学校、家庭で必ず取り入れるようにする。
- ・むずかしいから、やりやすいことを教えて欲しいです。
僕は、自転車をしたり、カードゲームをしたり、電気を使わず昭和らしい遊びをしている。もっと外で自由に遊べればいいとおもう。
- ・自転車での移動を推進する。（貸し出し用の自転車・自転車置き場を普及させる。）
- ・高山市は古い町並みのような、炎天下の中外で歩く場所が多いです。そのため、観光客は熱中症になりやすいのではないのでしょうか。だから、自動販売機の数を増やしたり、涼しいところで休めるスポットを作ったりしたらいいと思います。
- ・地球温暖化は、対策が必要だと思います。森林の減少によって、温暖化につながったり、動物の減少にもつながるので、木の伐採の量を減らすことや植林をすることが必要だと思います。
- ・温暖化対策するにしても、お金の問題もあるし、いろいろな条件によってはそれにより別の大きな問題が起きることもある（賃貸ならば節水家電などへ置き換えると契約違反になりかねない。公共交通を使うのも、地域によってはそれが無かったり少なすぎて生活できないこともある）。それらを国や自治体主導で対策して対策前と変わらない生活や条件になるようにしていかなないとなかなか個人や世帯単位での対策は難しいのではないかな。
- ・地球温暖化を防ぐには私たち一人一人の努力や工夫が大切ですが限界もあります。どれだけ頑張っても、アメリカや中国などの大国が真剣に向き合わないと効果は限定的です。やはり、国際社会が、自国第一主義ではなく、地球温暖化を国境を超えた問題（自分ごと）として考え、すべての国が同じ方向を向いて行動することが重要だと思います。温暖化を止めるには、自ら率先して温暖化を防ぐ取組をしつつ、粘り強く国際社会に訴え続けることではないかと思います。

県営公園に関するアンケート

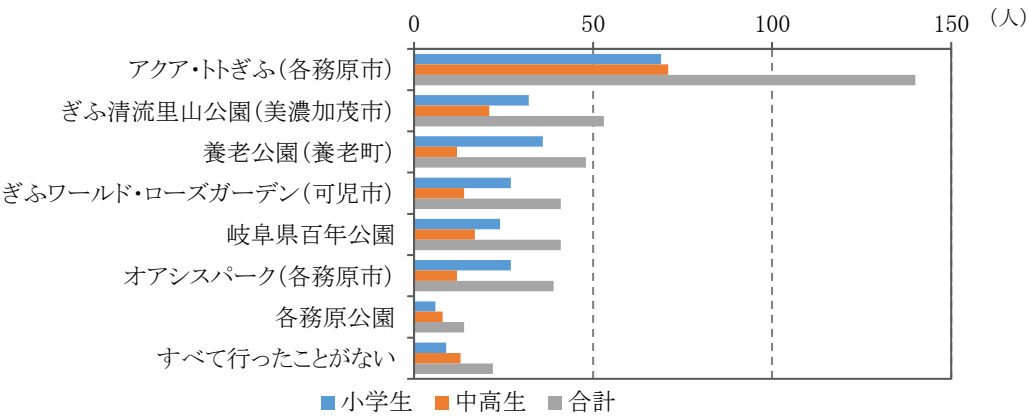
公園緑地課

1. アンケート調査の目的
ワクワク楽しく使えて、何度も行きたくなるような県営公園にするため、アンケート調査を実施しました。

2. 調査結果

問1 次の県営公園のうち、あなたが行ったことがある公園はありますか。
ある場合は、その中で思い出に残っている公園を一つ選んでください。
回答者 398 人

公園名	人数(人)			割合(%)		
	小学生	中高生	計	小学生	中高生	全体
アクア・トトぎふ(各務原市)	69	71	140	30.0%	42.3%	35.2%
ぎふ清流里山公園(美濃加茂市)	32	21	53	13.9%	12.5%	13.3%
養老公園(養老町)	36	12	48	15.7%	7.1%	12.1%
ぎふワールド・ローズガーデン(可児市)	27	14	41	11.7%	8.3%	10.3%
岐阜県百年公園(関市)	24	17	41	10.4%	10.1%	10.3%
オアシスパーク(各務原市)	27	12	39	11.7%	7.1%	9.8%
各務原公園(各務原市)	6	8	14	2.6%	4.8%	3.5%
すべて行ったことがない	9	13	22	3.9%	7.7%	5.5%
計	230	168	398	—	—	—



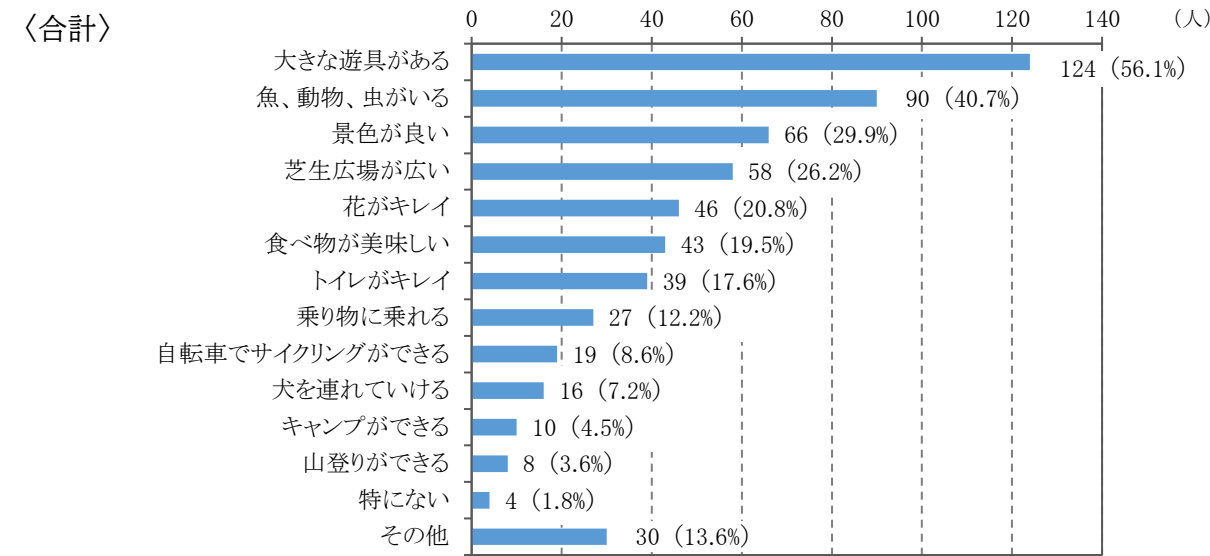
～結果の概要～
「アクア・トトぎふ」(35.2%)が最も高い。「ぎふ清流里山公園」、「養老公園」、「ぎふワールド・ローズガーデン」、「岐阜県百年公園」、「オアシスパーク」はそれぞれ1割程度となっており、各公園に回答が分散している。
「すべて行ったことがない」と回答した方は5.5%で、大多数の方がこれまでにいずれかの県営公園を訪れたことがあるといえる。

問2 【小学生】(問1で回答した公園についてお聞きします。)
この公園の、友達に自慢できる良いところを教えてください。(複数回答)

回答者 221 人

項目	ぎふワールド・ローズガーデン		ぎふ清流里山公園		養老公園		オアシスパーク		アクア・トトぎふ		各務原公園		岐阜県百年公園		合計	
大きな遊具がある	19	70.4%	23	71.9%	26	72.2%	14	51.9%	19	27.5%	4	66.7%	19	79.2%	124	56.1%
魚、動物、虫がいる	1	3.7%	15	46.9%	9	25.0%	10	37.0%	50	72.5%	2	33.3%	3	12.5%	90	40.7%
景色が良い	10	37.0%	11	34.4%	19	52.8%	6	22.2%	14	20.3%	0	0.0%	6	25.0%	66	29.9%
芝生広場が広い	7	25.9%	10	31.3%	21	58.3%	3	11.1%	8	11.6%	3	50.0%	6	25.0%	58	26.2%
花がキレイ	18	66.7%	8	25.0%	5	13.9%	5	18.5%	2	2.9%	3	50.0%	5	20.8%	46	20.8%
食べ物が美味しい	3	11.1%	11	34.4%	2	5.6%	9	33.3%	15	21.7%	2	33.3%	1	4.2%	43	19.5%
トイレがキレイ	4	14.8%	5	15.6%	3	8.3%	3	11.1%	17	24.6%	2	33.3%	5	20.8%	39	17.6%
乗り物に乗れる	2	7.4%	7	21.9%	2	5.6%	4	14.8%	5	7.2%	2	33.3%	5	20.8%	27	12.2%
自転車でサイクリングができる	0	0.0%	2	6.3%	1	2.8%	3	11.1%	1	1.4%	1	16.7%	11	45.8%	19	8.6%
犬を連れていける	2	7.4%	3	9.4%	2	5.6%	5	18.5%	2	2.9%	1	16.7%	1	4.2%	16	7.2%
キャンプができる	0	0.0%	2	6.3%	2	5.6%	2	7.4%	3	4.3%	0	0.0%	1	4.2%	10	4.5%
山登りができる	1	3.7%	1	3.1%	3	8.3%	2	7.4%	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	8	3.6%
特にない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	7.4%	1	1.4%	0	0.0%	1	4.2%	4	1.8%
その他	2	7.4%	7	21.9%	4	11.1%	7	25.9%	8	11.6%	0	0.0%	2	8.3%	30	13.6%
計	69	—	105	—	99	—	75	—	146	—	20	—	66	—	580	—

※割合は問1で当該公園を選択した回答者を母数として算出。
(ぎふワールド・ローズガーデン:27人、ぎふ清流里山公園:32人、養老公園:36人、オアシスパーク:27人、
アクア・トトぎふ:69人、各務原公園:6人、岐阜県百年公園:24人)



「その他」のうち主なもの
・水遊びができる。
・イベントが楽しい。

～結果の概要～

全体では「大きな遊具がある」(56.1%)で最も高く、公園別に見ても、「アクア・トトぎふ」を除く6公園で最も多い回答となっている。次いで「魚、動物、虫がいる」(40.7%)、「景色が良い」(29.9%)、「芝生広場が広い」(26.2%)と続いており、自然や生き物に触れられる環境やのびのびと遊べる環境も評価されている。

公園別にみると、ぎふワールド・ローズガーデンでは「花がキレイ」(66.7%)、養老公園では「芝生広場が広い」(58.3%)、岐阜県百年公園では「自転車でサイクリングができる」(45.8%)と、各公園の特色が評価されている。

問2 【中高生】(問1で回答した公園についてお聞きます。)

この公園の、友達に自慢できる良いところを教えてください。(複数回答)

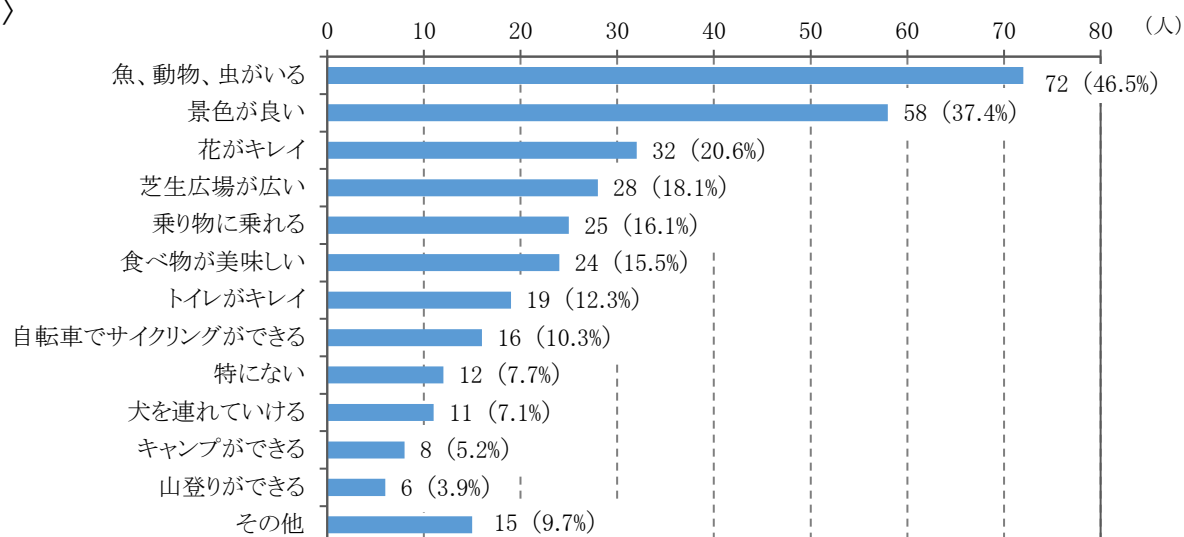
回答者 155 人

項目	ぎふワールド・ローズガーデン		ぎふ清流里山公園		養老公園		オアシスパーク		アクア・トトぎふ		各務原公園		岐阜県百年公園		合計	
魚、動物、虫がいる	1	7.1%	7	33.3%	3	25.0%	6	50.0%	51	71.8%	1	12.5%	3	17.6%	72	46.5%
景色が良い	7	50.0%	15	71.4%	8	66.7%	2	16.7%	19	26.8%	2	25.0%	5	29.4%	58	37.4%
花がキレイ	12	85.7%	8	38.1%	2	16.7%	0	0.0%	9	12.7%	0	0.0%	1	5.9%	32	20.6%
芝生広場が広い	2	14.3%	6	28.6%	5	41.7%	2	16.7%	10	14.1%	2	25.0%	1	5.9%	28	18.1%
乗り物に乗れる	0	0.0%	9	42.9%	3	25.0%	2	16.7%	7	9.9%	3	37.5%	1	5.9%	25	16.1%
食べ物が美味しい	3	21.4%	8	38.1%	0	0.0%	2	16.7%	10	14.1%	1	12.5%	0	0.0%	24	15.5%
トイレがキレイ	1	7.1%	2	9.5%	2	16.7%	1	8.3%	10	14.1%	1	12.5%	2	11.8%	19	12.3%
自転車でサイクリングができる	0	0.0%	2	9.5%	2	16.7%	1	8.3%	1	1.4%	2	25.0%	8	47.1%	16	10.3%
特にない	1	7.1%	1	4.8%	2	16.7%	2	16.7%	5	7.0%	0	0.0%	1	5.9%	12	7.7%
犬を連れていける	0	0.0%	5	23.8%	2	16.7%	2	16.7%	2	2.8%	0	0.0%	0	0.0%	11	7.1%
キャンプができる	0	0.0%	0	0.0%	2	16.7%	3	25.0%	3	4.2%	0	0.0%	0	0.0%	8	5.2%
山登りができる	0	0.0%	0	0.0%	4	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	11.8%	6	3.9%
その他	0	0.0%	5	23.8%	2	16.7%	0	0.0%	5	7.0%	1	12.5%	2	11.8%	15	9.7%
計	27	—	68	—	37	—	23	—	132	—	13	—	26	—	326	—

※割合は問1で当該公園を選択した回答者を母数として算出。

(ぎふワールド・ローズガーデン:14人、ぎふ清流里山公園:21人、養老公園:12人、オアシスパーク:12人、アクア・トトぎふ:71人、各務原公園:8人、岐阜県百年公園:17人)

〈合計〉



「その他」のうち主なもの

- ・陶芸やおせんべいを焼いたりできる体験が楽しかった。
- ・身体を使って遊べる施設がある。

～結果の概要～

「魚、動物、虫がいる」(46.5%)が最も高く、次いで「景色が良い」(37.4%)、「花がキレイ」(20.6%)と、公園の魅力として自然環境の豊かさが評価されている。公園別にみると、ぎふ清流里山公園では「景色が良い」が71.4%、養老公園では66.7%と他公園に比べて高く、自然環境や景観が各公園の魅力として評価されている。その他の回答には、体験や身体を使った遊びを挙げる意見もあり、多様な体験を楽しめることも公園の魅力として評価されている。

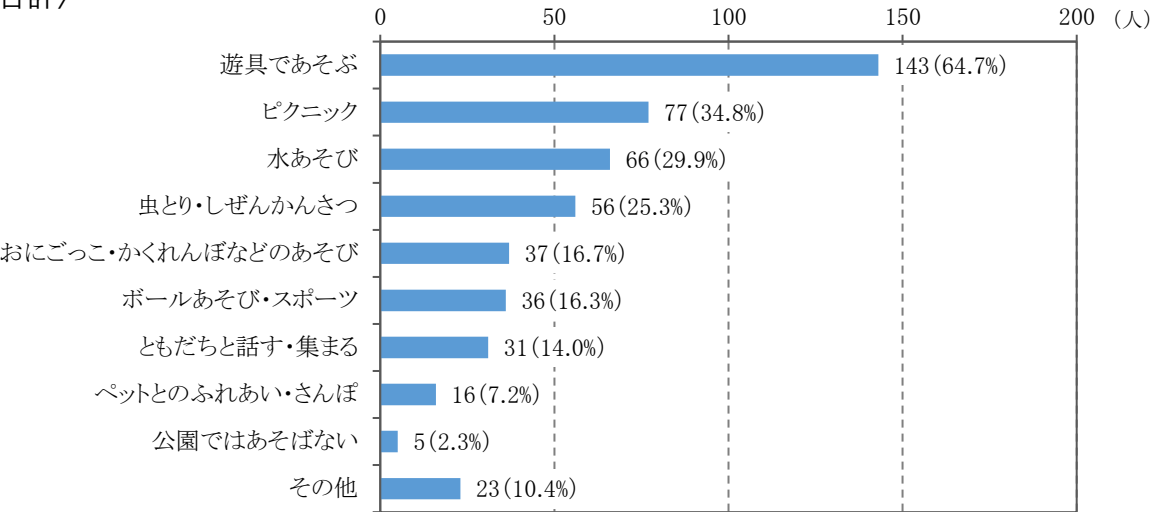
問3 【小学生】（問1で回答した公園についてお聞きします。）
あなたは、この公園でどんなことをしてあそびますか。（複数選択）

回答者 221 人

項目	ぎふワールド・ローズガーデン		ぎふ清流里山公園		養老公園		オアシスパーク		アクア・トトぎふ		各務原公園		岐阜県百年公園		合計	
遊具であそぶ (ブランコ・すべり台・ジャングルジムなど)	21	77.8%	24	75.0%	29	80.6%	18	66.7%	28	40.6%	4	66.7%	19	79.2%	143	64.7%
ピクニック (お弁当や おやつを食べる)	9	33.3%	13	40.6%	22	61.1%	9	33.3%	16	23.2%	0	0.0%	8	33.3%	77	34.8%
水あそび (じゃぶじゃぶ池・ ふん水・たきなど)	7	25.9%	5	15.6%	7	19.4%	18	66.7%	24	34.8%	1	16.7%	4	16.7%	66	29.9%
虫とり・しぜんかんさつ (花・木・鳥などを見たり、 虫をさがしたりする)	5	18.5%	4	12.5%	5	13.9%	7	25.9%	29	42.0%	1	16.7%	5	20.8%	56	25.3%
おにごっこ・かくれんぼなどの あそび	2	7.4%	4	12.5%	9	25.0%	9	33.3%	4	5.8%	1	16.7%	8	33.3%	37	16.7%
ボールあそび・スポーツ (サッカー・キャッチボールなど)	2	7.4%	4	12.5%	15	41.7%	5	18.5%	4	5.8%	3	50.0%	3	12.5%	36	16.3%
ともだちと話す・集まる	2	7.4%	3	9.4%	6	16.7%	5	18.5%	11	15.9%	2	33.3%	2	8.3%	31	14.0%
ペットとのふれあい・さんぽ	1	3.7%	4	12.5%	0	0.0%	6	22.2%	4	5.8%	0	0.0%	1	4.2%	16	7.2%
公園ではあそばない	2	7.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.7%	1	1.4%	0	0.0%	1	4.2%	5	2.3%
その他	3	11.1%	8	25.0%	1	2.8%	3	11.1%	6	8.7%	1	16.7%	1	4.2%	23	10.4%
計	54	—	69	—	94	—	81	—	127	—	13	—	52	—	490	—

※割合は問1で当該公園を選択した回答者を母数として算出。
(ぎふワールド・ローズガーデン:27人、ぎふ清流里山公園:32人、養老公園:36人、オアシスパーク:27人、
アクア・トトぎふ:69人、各務原公園:6人、岐阜県百年公園:24人)

〈合計〉



「その他」のうち主なもの
・景色をみながら散歩をしている。
・期間限定のイベントに参加する。

～結果の概要～

「遊具であそぶ(ブランコ・すべり台・ジャングルジムなど)」(64.7%)が最も高く、小学生は遊具を使用した遊びが公園利用の中心となっている。次いで「ピクニック(お弁当やおやつを食べる)」(34.8%)が高く、遊具で体を動かして遊ぶだけでなく、家族や友人とゆっくりと過ごす場としての利用も多い。「虫とり・しぜんかんさつ(花・木・鳥などを見たり、虫をさがしたりする)」(25.3%)との回答も一定数みられ、自然と触れあう場としても利用されている。

公園別にみると、オアシスパークでは「水あそび(じゃぶじゃぶ池・ふん水・たきなど)」が66.7%と全公園で最も高く、水あそびを目的とした利用が多い。

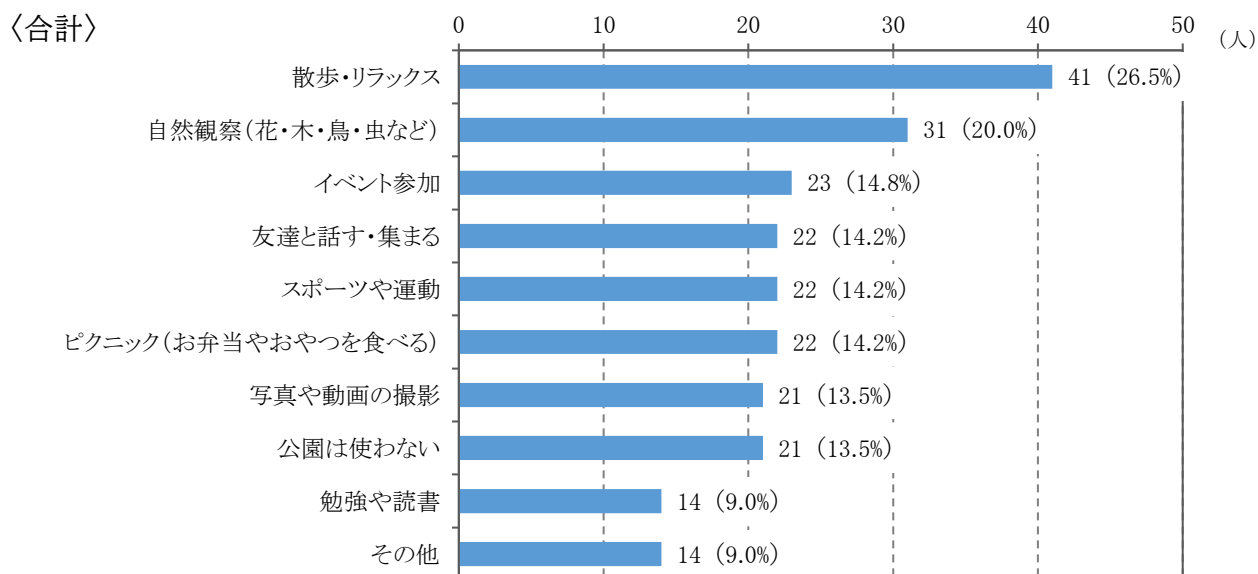
問3 【中高生】(問1で回答した公園についてお聞きします。)
あなたは、この公園を主にどのような目的で利用しますか。(複数選択)

回答者 155 人

項目	ぎふワールド・ローズガーデン		ぎふ清流里山公園		養老公園		オアシスパーク		アクア・トトぎふ		各務原公園		岐阜県百年公園		合計	
散歩・リラックス	3	21.4%	15	71.4%	3	25.0%	4	33.3%	7	9.9%	3	37.5%	6	35.3%	41	26.5%
自然観察(花・木・鳥・虫など)	7	50.0%	2	9.5%	0	0.0%	5	41.7%	10	14.1%	1	12.5%	6	35.3%	31	20.0%
イベント参加	5	35.7%	0	0.0%	3	25.0%	2	16.7%	6	8.5%	2	25.0%	5	29.4%	23	14.8%
友達と話す・集まる	0	0.0%	4	19.0%	2	16.7%	3	25.0%	10	14.1%	2	25.0%	1	5.9%	22	14.2%
スポーツや運動	3	21.4%	2	9.5%	3	25.0%	1	8.3%	9	12.7%	1	12.5%	3	17.6%	22	14.2%
ピクニック(お弁当やおやつを食べる)	1	7.1%	8	38.1%	0	0.0%	0	0.0%	11	15.5%	1	12.5%	1	5.9%	22	14.2%
写真や動画の撮影	2	14.3%	7	33.3%	1	8.3%	0	0.0%	10	14.1%	0	0.0%	1	5.9%	21	13.5%
公園は使わない	1	7.1%	6	28.6%	2	16.7%	0	0.0%	8	11.3%	1	12.5%	3	17.6%	21	13.5%
勉強や読書	0	0.0%	5	23.8%	0	0.0%	0	0.0%	9	12.7%	0	0.0%	0	0.0%	14	9.0%
その他	0	0.0%	5	23.8%	0	0.0%	1	8.3%	8	11.3%	0	0.0%	0	0.0%	14	9.0%
計	22	—	54	—	14	—	16	—	88	—	11	—	26	—	231	—

※割合は問1で当該公園を選択した回答者を母数として算出。

(ぎふワールド・ローズガーデン:14人、ぎふ清流里山公園:21人、養老公園:12人、オアシスパーク:12人、アクア・トトぎふ:71人、各務原公園:8人、岐阜県百年公園:17人)



「その他」のうち主なもの

- ・家族とのお出かけ
- ・学校の遠足

～結果の概要～

「散歩・リラックス」(26.5%)が最も高く、運動や心身を休める場としての利用が多い。次いで「自然観察(花・木・鳥・虫など)」(20.0%)、「イベント参加」(14.8%)、「友達と話す・集まる」(14.2%)が同程度の割合であり、憩いや体験、交流を目的とした利用も多い。

公園別にみると、ぎふワールド・ローズガーデンでは「自然観察(花・木・鳥・虫など)」が50.0%、岐阜県百年公園では35.3%と他公園に比べて高く、自然とのふれあいや観察を目的とした利用が多い。

問4 【小学生】(問1で回答した公園についてお聞きます。)

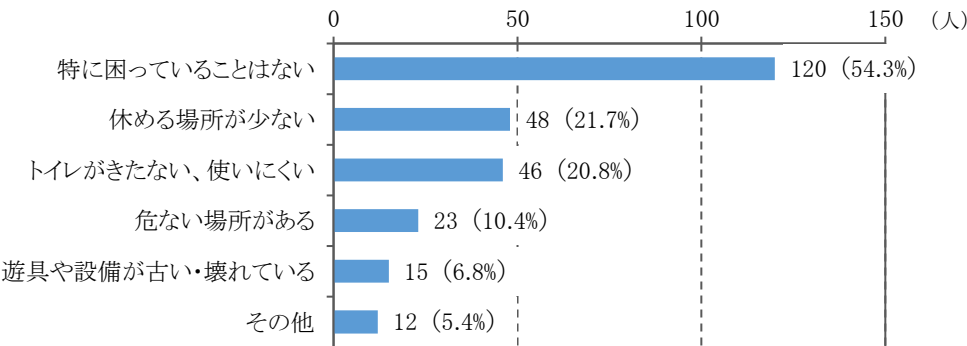
この公園であそぶときに、こまっていることや使いにくいと思うことはありますか？(複数選択)

回答者221人

項目	ぎふワールド・ローズガーデン		ぎふ清流里山公園		養老公園		オアシスパーク		アクア・トトぎふ		各務原公園		岐阜県百年公園		合計	
特に困っていることはない	18	66.7%	13	40.6%	20	55.6%	13	48.1%	44	63.8%	3	50.0%	9	37.5%	120	54.3%
休める場所が少ない(ベンチや日かげなど)	5	18.5%	9	28.1%	6	16.7%	8	29.6%	13	18.8%	2	33.3%	5	20.8%	48	21.7%
トイレがきたない、使いにくい(和式など)	2	7.4%	9	28.1%	7	19.4%	5	18.5%	13	18.8%	3	50.0%	7	29.2%	46	20.8%
危ない場所がある(暗い・転びやすい・人目につかない場所などがある)	3	11.1%	5	15.6%	5	13.9%	4	14.8%	4	5.8%	0	0.0%	2	8.3%	23	10.4%
遊具や設備が古い・壊れている	0	0.0%	1	3.1%	4	11.1%	1	3.7%	4	5.8%	0	0.0%	5	20.8%	15	6.8%
その他	2	7.4%	3	9.4%	1	2.8%	2	7.4%	2	2.9%	0	0.0%	2	8.3%	12	5.4%
計	30	—	40	—	43	—	33	—	80	—	8	—	30	—	264	—

※割合は問1で当該公園を選択した回答者を母数として算出。
(ぎふワールド・ローズガーデン:27人、ぎふ清流里山公園:32人、養老公園:36人、オアシスパーク:27人、アクア・トトぎふ:69人、各務原公園:6人、岐阜県百年公園:24人)

〈合計〉



「その他」のうち主なもの

- ・人が多くて遊びたくても遊べない時がある。

～結果の概要～

「特に困っていることはない」が54.3%で最も高い。一方で、「休める場所が少ない（ベンチや日かげなど）」(21.7%)、「トイレがきたない、使いにくい(和式など)」(20.8%)との回答も全公園で一定数みられ、休憩施設やトイレ環境に対する意見があることが分かる。

問4 【中高生】(問1で回答した公園についてお聞きします。)

この公園を利用する時に、困っていることや不便なことはありますか？(複数選択)

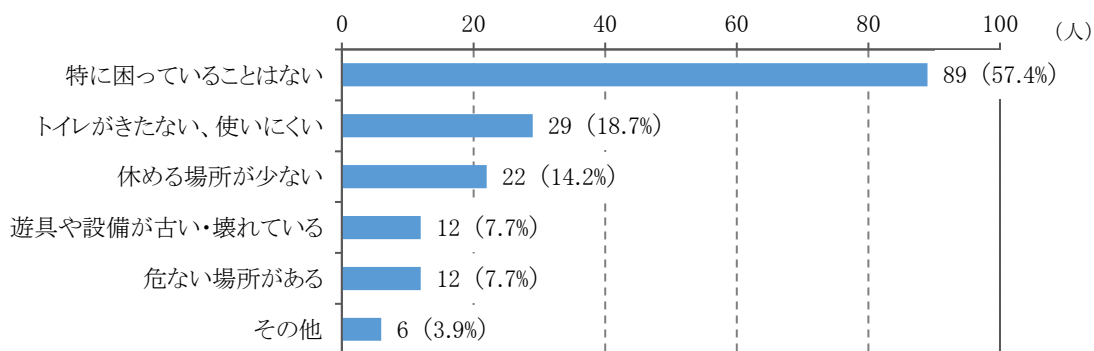
回答者155人

項目	ぎふワールド・ローズガーデン		ぎふ清流里山公園		養老公園		オアシスパーク		アクア・トトぎふ		各務原公園		岐阜県百年公園		合計	
特に困っていることはない	8	57.1%	13	61.9%	4	33.3%	6	50.0%	50	70.4%	1	12.5%	7	41.2%	89	57.4%
トイレがきたない、使いにくい(和式など)	3	21.4%	3	14.3%	5	41.7%	2	16.7%	10	14.1%	2	25.0%	4	23.5%	29	18.7%
休める場所が少ない(ベンチや日かげなど)	2	14.3%	3	14.3%	0	0.0%	4	33.3%	7	9.9%	3	37.5%	3	17.6%	22	14.2%
遊具や設備が古い・壊れている	0	0.0%	1	4.8%	3	25.0%	0	0.0%	3	4.2%	1	12.5%	4	23.5%	12	7.7%
危ない場所がある(暗い・転びやすい・人目につかない場所などがある)	1	7.1%	2	9.5%	2	16.7%	0	0.0%	4	5.6%	2	25.0%	1	5.9%	12	7.7%
その他	1	7.1%	0	0.0%	2	16.7%	1	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	11.8%	6	3.9%
計	15	—	22	—	16	—	13	—	74	—	9	—	21	—	170	—

※割合は問1で当該公園を選択した回答者を母数として算出。

(ぎふワールド・ローズガーデン:14人、ぎふ清流里山公園:21人、養老公園:12人、オアシスパーク:12人、アクア・トトぎふ:71人、各務原公園:8人、岐阜県百年公園:17人)

〈合計〉



「その他」のうち主なもの

- ・夏によく行くので、日よけスポットが少ないことが不便。
- ・自動販売機が少ない。

～結果の概要～

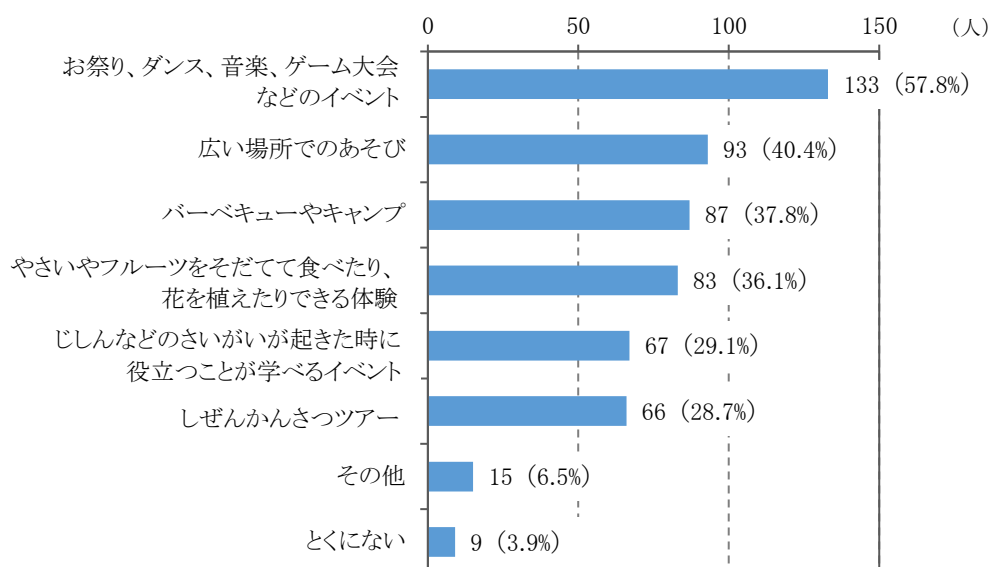
「特に困っていることはない」が57.4%で最も高い。一方で、小学生の回答と同様に「トイレがきたない、使いにくい」(18.7%)、「休める場所が少ない(ベンチや日かげなど)」(14.2%)と休憩施設やトイレ環境に対する意見があることが分かる。また、その他の回答の中には「日よけスポットが少ない」といった意見もみられ、近年の猛暑や強い日差しに対応した環境が求められていることが分かる。

問5 【小学生】

公園でどんなことができたならワクワクしたり、行きたくなったりしますか。

(複数選択) 回答者230人

項目	人数	割合
お祭り、ダンス、音楽、ゲーム大会などのイベント	133	57.8%
広い場所でのあそび	93	40.4%
バーベキューやキャンプ	87	37.8%
やさいやフルーツをそだてて食べたり、花を植えたりできる体験	83	36.1%
じしんなどのさいがいが起きた時に役立つことが学べるイベント(じしんたいけん車・ひじょう食クッキングなど)	67	29.1%
しぜんかんさつツアー	66	28.7%
その他	15	6.5%
とくにない	9	3.9%
計	553	—



「その他」のうち主なもの

- ・動物とふれあいたい。
- ・暑い日でも遊べる場所があるとよい。

～結果の概要～

「お祭り、ダンス、音楽、ゲーム大会などのイベント」(57.8%)が最も高い。次いで「広い場所でのあそび」(40.4%)、「バーベキューやキャンプ」(37.8%)、「やさいやフルーツをそだてて食べたり、花を植えたりできる体験」(36.1%)が続くことから公園に対するのびのびと遊べる空間に加え、自然や仲間との関わりを通じた体験型の活動を楽しめる場としての役割が期待されていることが分かる。

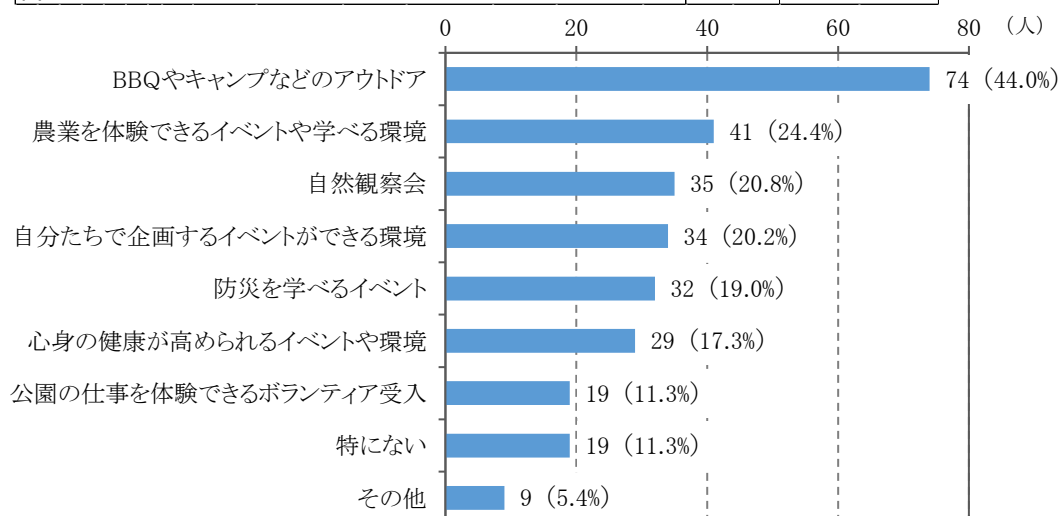
「じしんなどのさいがいが起きた時に役立つことが学べるイベント」(29.1%)との回答も一定数みられ、公園における防災に関する体験型の学びの機会に対するニーズがあることが分かる。

問5 【中高生】

県営公園でどんなことができたらワクワクしたり、行きたくなったりしますか。

(複数選択)回答者168人

項目	人数	割合
BBQやキャンプなどのアウトドア	74	44.0%
農業(作付け、収穫、調理など)を体験できるイベントや学べる環境	41	24.4%
自然観察会(植物、昆虫など)	35	20.8%
自分たちで企画するイベントができる環境	34	20.2%
防災を学べるイベント(地震体験車・非常食クッキングなど)	32	19.0%
心身の健康が高められるイベントや環境(軽スポーツやヨガ、ピラティス、ウォーキング教室など)	29	17.3%
花壇の手入れやイベントの運営補助など、公園の仕事を体験できるボランティア受入	19	11.3%
特にない	19	11.3%
その他	9	5.4%
計	292	—



「その他」のうち主なもの

- ・園内で謎解きやクイズラリーをしてみたい。
- ・どんな気候でも楽しめる場所があると良い。

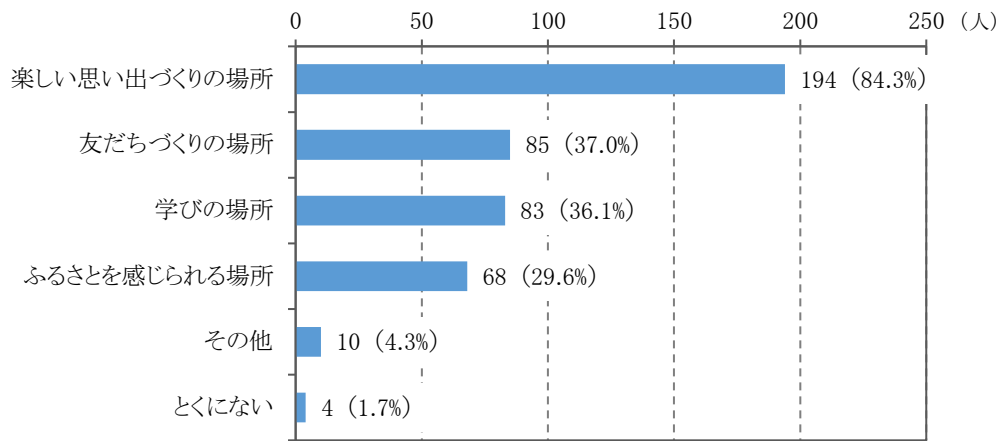
～結果の概要～

「BBQやキャンプなどのアウトドア」(44.0%)が最も高い。次いで「農業(作付け、収穫、調理など)を体験できるイベントや学べる環境」(24.4%)、「自然観察会(植物、昆虫など)」(20.8%)、「自分たちで企画するイベントができる環境」(20.2%)となっており、中高生は小学生と比較して、より主体的かつ実践的な活動の場を求める傾向が見られる。小学生と同様に「防災を学べるイベント(地震体験車・非常食クッキングなど)」(19.0%)との回答も一定数みられ、公園における防災に関する体験型の学びの機会に対するニーズがあることが分かる。

問6 【小学生】
公園がどんな場所になるとよいと思いますか。(複数選択)

回答者230人

項目	人数	割合
楽しい思い出づくりの場所	194	84.3%
友だちづくりの場所	85	37.0%
学びの場所	83	36.1%
ふるさとを感じられる場所	68	29.6%
その他	10	4.3%
とくにない	4	1.7%
計	444	—



- 「その他」のうち主なもの
- ・子どもだけでなく家族も一緒に楽しめる場所
 - ・夏でも楽しめる場所

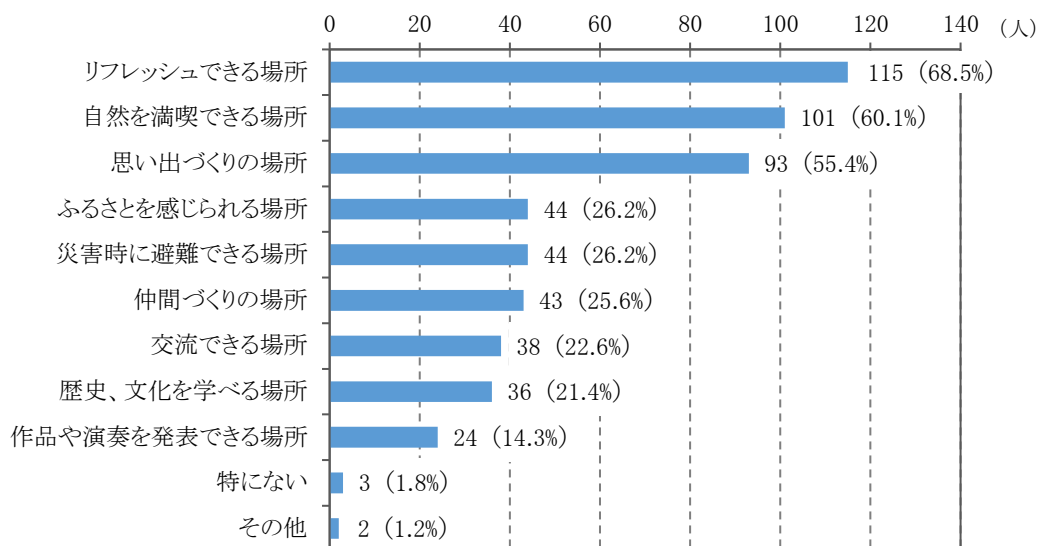
～結果の概要～
「楽しい思い出づくりの場所」(84.3%)が最も多い。次いで「友だちづくりの場所」「学びの場所」「ふるさとを感じられる場所」がいずれも3～4割程度であり、遊びの場としてだけでなく、交流や学び、地域への愛着を育む場としての役割も求められていることが分かる。

問6 【中高生】

県営公園がどんな場所になるとよいと思いますか。(複数選択)

回答者168人

項目	人数	割合
リフレッシュできる場所	115	68.5%
自然を満喫できる場所	101	60.1%
思い出づくりの場所	93	55.4%
ふるさとを感じられる場所	44	26.2%
災害時に避難できる場所	44	26.2%
仲間づくりの場所	43	25.6%
交流できる場所	38	22.6%
歴史、文化を学べる場所	36	21.4%
作品や演奏を発表できる場所	24	14.3%
特にない	3	1.8%
その他	2	1.2%
計	543	—



「その他」のうち主なもの
・人々にとって身近な場所

～結果の概要～

「リフレッシュできる場所」(68.5%)が最も高く、心身を休める場としての役割を期待する声が最も多い。次いで「自然を満喫できる場所」(60.1%)、「思い出づくりの場所」(55.4%)が高い割合を占めており、自然とのふれあいの場や、記憶に残る時間を過ごせる場としての役割が期待されている。「歴史、文化を学べる場所」と回答した方は21.4%であり、中高生にはレクリエーションの場としてだけでなく学びの場としての役割も期待されていることが分かる。

IT企業への興味・就職に関するアンケート

産業デジタル推進課

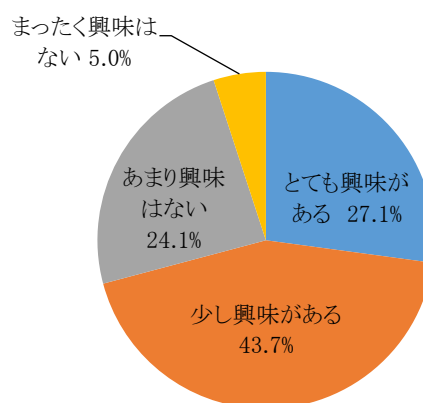
1. アンケート調査の目的

県内IT企業の効果的な魅力発信に活用するため、アンケート調査を実施しました。

2. 調査結果

問1 IT(情報技術)やAI(人工知能)についてどのくらい興味がありますか。

	人数	割合
とても興味がある	108	27.1%
少し興味がある	174	43.7%
あまり興味はない	96	24.1%
まったく興味はない	20	5.0%
計	398	100.0%



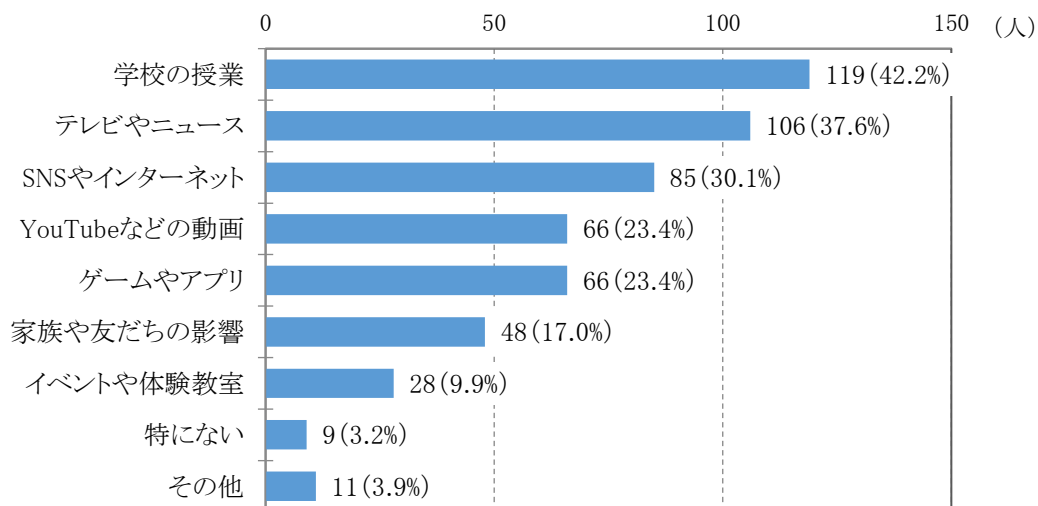
～結果の概要～

ITやAIへの興味について、「とても興味がある」が27.1%、「少し興味がある」が43.7%で、合わせて70.9%が関心を示している。一方、「あまり興味はない」は24.1%、「まったく興味はない」は5.0%であった。多くの子ども・若者がITやAIに関心を持っており、今後の学習や進路選択につながる可能性がうかがえる。

問2 (問1で「とても興味がある」「少し興味がある」を選んだ人)

興味をもったきっかけを教えてください。(複数回答) 回答者 282 人

	回答数	割合
学校の授業	119	42.2%
テレビやニュース	106	37.6%
SNSやインターネット	85	30.1%
YouTubeなどの動画	66	23.4%
ゲームやアプリ	66	23.4%
家族や友だちの影響	48	17.0%
イベントや体験教室	28	9.9%
特にない	9	3.2%
その他	11	3.9%
計	538	-



「その他」のうち主なもの

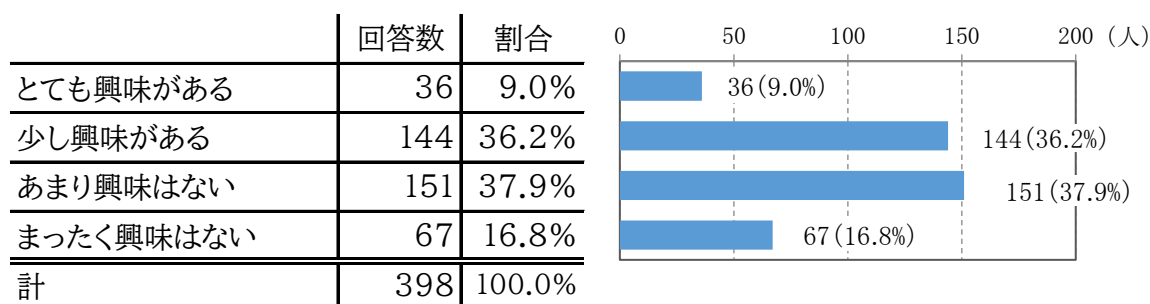
- ・ 本
- ・ 祖父母、教師等その他の人の影響

～結果の概要～

ITやAIに興味を持ったきっかけは、「学校の授業」が42.2%となっているが、「テレビやニュース」が37.6%、「SNSやインターネット」が30.1%、「YouTubeなどの動画」23.4%となり、テレビやインターネットメディアが関心喚起に大きな役割を果たしていることが分かる。

問3 将来、IT企業で働くことに興味はありますか？

回答者 398 人

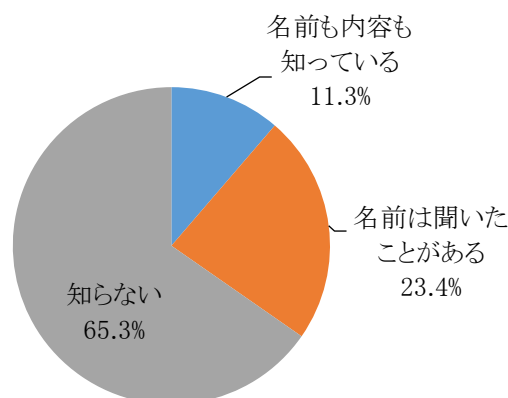


～結果の概要～

将来IT企業で働くことへの興味は、「とても興味がある」9.0%、「少し興味がある」36.2%で、合わせて45.2%であった。一方で、「あまり興味はない」「まったく興味はない」は54.8%を占め、一定の興味があるものの、さらに就業イメージや仕事内容への理解を深める取組が求められる。

問4 県内にあるIT企業が集まる場所として、「ソフトピアジャパン」や「ブイアールテクノセンター」を知っていますか。

	人数	割合
名前も内容も知っている	45	11.3%
名前は聞いたことがある	93	23.4%
知らない	260	65.3%
計	398	100.0%



～結果の概要～

県内IT企業の集積地である「ソフトピアジャパン」や「ブイアールテクノセンター」の認知度は低く、「名前も内容も知っている」は11.3%にとどまった。「知らない」が65.3%を占めており、若年層に向けた情報発信やPRの強化が必要であることがうかがえる。

問5 県内のIT企業をもっと知ってもらったり、働きたいと思う人を増やしたりするために、どんな取組があるとよいと思いますか。 (自由記述)

(主な意見)

<体験・見学機会の充実>

- ・ IT企業の仕事内容の体験会(理想はキッザニアのような誰でも気軽に楽しく体験できる場)が夏休みなど時間のある時にあるとよい。
- ・ IT企業が身近にあるということを知ってもらうために職場体験のような企業訪問の機会があったらいいと思います。
- ・ 会社見学や体験会を増やすと、ITの仕事に興味を持ち、働きたいと思う人が増えると思います。
- ・ IT企業の仕事を知ってもらうために実際に体験できるのを企画してみるのがいいと思います。

<学校との連携によるIT教育・キャリア教育の充実>

- ・ 県内IT企業の社員による出前授業や講演会を開いたり、SNSや動画を活用した情報発信を行ったりする。また、高校生や大学生向けのインターンシップを充実させる。
- ・ まずは県内にあるIT企業について知ってもらうことが大切だと思います。わたしも、今回のアンケートを通して初めて知りました。特に、高校生は進路を将来の仕事、進路について考えるので、高校で講話をしてみるのはどうでしょうか。実際に働いている人から話を聞けるとイメージがしやすいです。
- ・ IT企業に関する講義やIT企業勤めの方と交流できるイベントが学校などであるといいと思う。
- ・ 多くの子供達が聞く機会を作るために、学校などでIT企業についての良さなどを、詳しく教えてもらえると良いと思います。
- ・ 学校で情報の知識を入れるだけでなく、学んだ内容がどんな仕事につながるかまでセットで教える

<IT企業の魅力・仕事内容・将来性の発信>

- ・ IT企業がどんな風に社会に貢献しているのかをみんなに伝えたいと思う。
- ・ なにをしているのかよく分からないからどういう風に私たちの生活に関わってるか知れたらいいと思う。
- ・ SNSを通してアピールする。IT企業は入社するのが難しそうだし、何をするか分からないからもっと分かりやすく説明してほしい。
- ・ IT産業が今どれほど求められており、どれだけの未来可能性があるか
Ex)アメリカでは今や賢い人は医学部よりもITに行くことも多くあると聞いた
→圧倒的に年収がITは高い、また高くなる可能性を秘めている。賢い人＝医学部の概念はIT業界の人手不足の問題だと考える。IT産業につくことの魅力をより伝えるべき
- ・ 「『岐阜県の』IT企業で働かないか?」という宣伝。「ここで働けば『他の企業にはない』こんないいことがある」と伝えること(自分の開発したシステムが利用されやすい環境など)。
- ・ 企業が何をしているか書いてあるパンフレットを作って呼びかける。

<SNS・動画・メディアを活用した広報の強化>

- ・ ユーチューブで企業のことについて配信してくれれば、見る機会があれば、見ると思います。例えば、QuizKnockというユーチューバーとコラボして、クイズ形式でどういった企業かをプロモーションしてもらえればどんな企業なのか、たくさんの人に興味を持って見てもらえると思います。
- ・ SNSを通してアピールする。
- ・ インスタやYouTubeでIT企業を広げる
- ・ 企業の取り組みなどをインスタやコマーシャルなど多くの人が見るもので宣伝する
- ・ IT企業の行うことを掲示したり、Webサイトにしたりすればいいと思います。

<学生が興味を持つ企画・コンテンツづくり>

- ・ 「ゲーム」という言葉でもう働いて見たい人もいます。でも特別で難しい試験などがあると、働いている人が来ないかも。なら、働いてる人が、作ったゲームやスマホアプリを紹介(ポスターやインスタ、インターネットなど)して、もし有名なものや好きなゲームがあったら来てくれる人もふえると思います。
- ・ ゲームソフト(無料アプリ)でPRする たとえばアプリの中でその企業のお仕事体験ができるなど
- ・ 自分でゲームなどを作ってもらう。それを自分で操作して動かす。
- ・ クイズ形式のようなイベントをひらく
- ・ 推しを作って、その人を憧れのの人になれて、その人みたいになりたいという気持ちを持たせたいと思う！そのためにその人の魅力とかをYouTubeとかでサムネが目にとまるようにしてネットで配信したり、みんなが行きたい！と思えるようなイベントを開催して、楽しくITについて学べるようにしたいと思う！
- ・ 人気なキャラクターとコラボした魅力的な商品を開発して販売したり、岐阜でIT博覧会を行うなどIT企業の凄さなど知らせる

障がい福祉に関するアンケート

障害福祉課

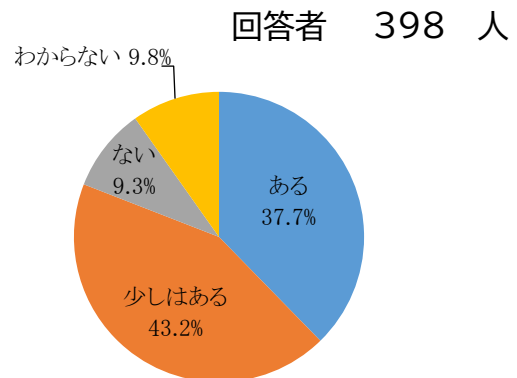
1. アンケート調査の目的

今後の障がい福祉に関する取組の参考とするため、アンケート調査を実施しました。

2. 調査結果

問1 あなたは、障がいのある人に対して、障がいを理由とする差別や偏見が社会にあると思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

	人数	割合
ある	150	37.7%
少しはある	172	43.2%
ない	37	9.3%
わからない	39	9.8%
計	398	100.0%

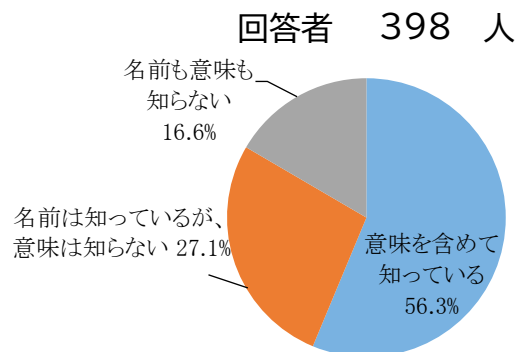


～結果の概要～

障がいを理由とする差別や偏見が社会に「少しはある」と回答した児童生徒が最も多く、全体の43.2%を占めている。また、「ある」「少しはある」を合計すると、全体の80.9%となり、多くの児童生徒が、障がいを理由とする何かしらの差別や偏見が社会にあると思っていることが分かる。

問2 あなたは、「ヘルプマーク」を知っていますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

	人数	割合
意味を含めて知っている	224	56.3%
名前は知っているが、意味は知らない	108	27.1%
名前も意味も知らない	66	16.6%
計	398	100.0%



～結果の概要～

ヘルプマークの「意味を含めて知っている」と回答した児童生徒が最も多く、全体の56.3%を占めている。

また、「意味を含めて知っている」「名前は知っているが、意味は知らない」を合計すると、全体の83.4%となり、多くの児童生徒がヘルプマークという名前を知っている。

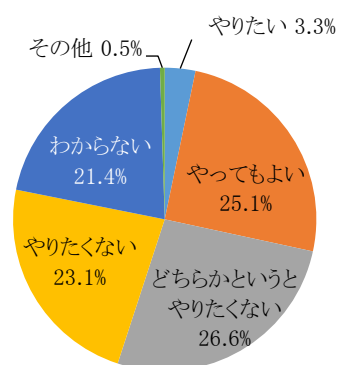
問3 あなたは将来、障がい福祉分野に関する仕事(※)をやりたいですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

回答者 398 人

(※)「障がい福祉分野に関する仕事」とは

- ・精神保健福祉士：精神に障がいのある人が、地域で暮らすための支援を手がけます。
- ・障がい者支援施設職員：入所する障がいのある人に対し、身の回りのお手伝いや訓練等を手がけます。
- ・相談支援専門員：障がいのある人の地域生活を支えるサービスの相談や手配を行います。
- ・障がい児者居宅介護従事者(ホームヘルパー)：障がいのある人の自宅に行き、生活上の様々な支援を行います。
- ・ガイドヘルパー(移動介護従事者)：障がいのために外出が困難な人に付き添い、移動を手伝います。
- ・手話通訳者：耳が聞こえない人などのコミュニケーションを、手話で手伝います。
- ・義肢装具士：手足を失った人などの義肢や装具を作り、体に合わせます。

	人数	割合
やりたい	13	3.3%
やってもよい	100	25.1%
どちらかというやりたくない	106	26.6%
やりたくない	92	23.1%
わからない	85	21.4%
その他	2	0.5%
計	398	100.0%

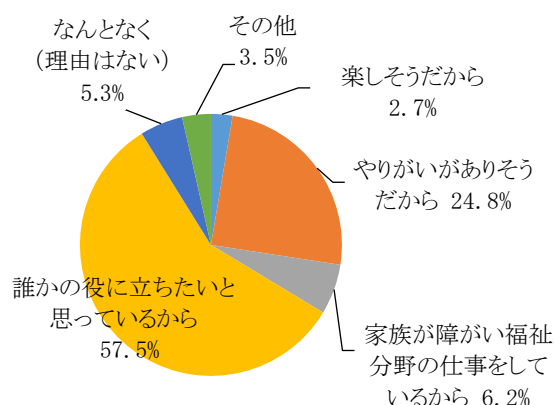


問3-2(問3で「やりたい」「やってもよい」を選んだ方)

どうして将来、障がい福祉分野に関する仕事を「やりたい」または「やってもよい」と思いましたか。次の中から自分の気持ちに近いものを1つ選んでください。

回答者 113 人

	人数	割合
楽しそうだから	3	2.7%
やりがいがありそうだから (※)	28	24.8%
家族が障がい福祉分野の仕事をしているから	7	6.2%
誰かの役に立ちたいと思っているから	65	57.5%
なんとなく(理由はない)	6	5.3%
その他	4	3.5%
計	113	100.0%



(※)小学生用の選択肢は、「がんばってやったら、やってよかったと思えそうだから」

「その他」のうち主なもの

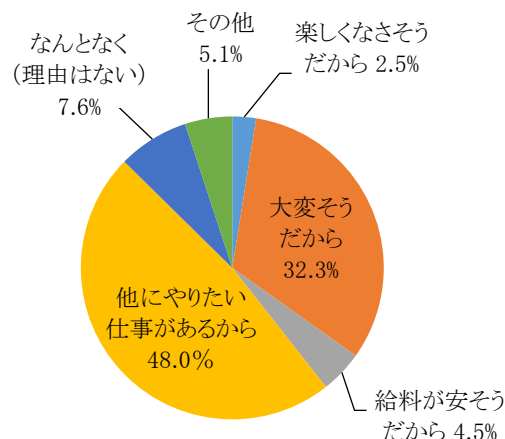
- ・手話をつかうことができ、今、自分ができることを活かしたいから
- ・私の弟が発達障がいだから

問3－3(問3で「どちらかというやりたくない」「やりたくない」を選んだ方)

どうして将来、障がい福祉分野に関する仕事を「どちらかというやりたくない」または「やりたくない」と思いましたか。次の中から自分の気持ちに近いものを1つ選んでください。

回答者 198 人

	人数	割合
楽しくなさそうだから	5	2.5%
大変そうだから	64	32.3%
給料が安そうだから	9	4.5%
他にやりたい仕事があるから	95	48.0%
なんとなく(理由はない)	15	7.6%
その他	10	5.1%
計	198	100.0%



「その他」のうち主なもの

- ・感情移入しすぎるので悲しくてできない
- ・あまり気遣いたくない
- ・めんどくさい 薄給 正直俺には関係ない

～結果の概要～

将来、障がい福祉分野に関する仕事を「やりたい」もしくは「やってもよい」と回答した児童生徒が全体の28.4%を占めている。一方、「どちらかというやりたくない」もしくは「やりたくない」と回答した児童生徒が全体の49.7%であることから、やりたくないと思っている児童生徒が大きく上回っている。

また、「やりたい」「やってもよい」を選んだ理由として、「誰かの役に立ちたいと思っているから」が最も多く、全体の57.5%を占めている。

なお、「どちらかというやりたくない」「やりたくない」を選んだ理由として、「他にやりたい仕事があるから」が最も多く、全体の48.0%を占めているが、「大変そうだから」という否定的な思いも全体の32.3%を占めており高くなっている。

問4 あなたは、岐阜県が、障がいのある人にとってもより住みやすい県になるには、どうすればいいと思いますか。ご意見があれば、ご記入ください。

(主な意見)

<交流する>

- ・一緒に遊べば仲良くなる。
- ・小学校で行われる地域の老人ホームへの交流のように、障がい者支援施設とも交流できる機会を設ける。
- ・障がいのある人もない人も変わらないから、交流できる場所があればみんな集まると思う。
- ・障がいのある人も一緒に遊べたり、楽しめたり、安全なユニバーサルデザインを開発したりするイベントがあるといいと思います。

<障がいについて知る>

- ・まず、たくさんの人に「障がい」だけではなく、どんな障がいがあるのか、その人たちはどのように生活を送っているのか知ってもらう。その上で障がい者のある人たちがどんなところで困っているのか、生活しにくいと思っているのかを知る必要があると思う。
- ・みんながもっと障がいや福祉について知ることが出来たらいいと思う。
- ・ヘルプマークなど、障がいのある人を支える制度について、もっと多くの人に知ってもらうことが大切だと思う。学校や地域で学ぶ機会を増やすことで、困っている人に自然に声をかけられる人が増え、障がいのある人も安心して生活できる岐阜県になると思う。

<思いやりをもつ>

- ・みんなが障がいのある人など、困っている人に声をかけて、困っている人がいれば優しく手伝ってあげると住みやすい県になると思う。
- ・みんながおもいやりを持つことで住みやすくなると思う。障がいの体験をすることで、知ってもらうことも大事だと思う。
- ・障がいのある人は、何か困るようなことがあるかもしれないから、そういうときは親切にすると良いと思う。

<道路、設備等を改善する>

- ・バリアフリートイレをつくったり、誰でも場所を選ばず入れるようにスロープをつくったりして、みんなと同じ生活がスムーズにできるようにしたらいいと思う。
- ・広くてきれいなどうろにする。がだがたのどうろだと通りにくい。
- ・所々にあるちょっとした段差をなくし、音が出る横断歩道の信号機を都市部だけでなく郊外にも設置した方がいいと思う。

<障がいのある人向けの施設をつくる>

- ・障がいのある人が子どもの時は親が介護できるから良いけど、大人になる頃には親も高齢になっていて、介護ができない。障がいのある人専用の施設、アパートみたいなところを増やすのが、しっかりケアも出来て、良いと思う。
- ・障がいのある人が利用できる快適に過ごせる施設をつくる。

<その他>

- ・障がいのある人が働く場所をつくる。
- ・福祉の分野で働く人たちのお給料をもっとあげたらいいと思う。大変なお仕事なのに安いから、働く人が少なく、障がいのある人も困っていると思う。
- ・盲導犬の同伴が可能な店を増やす。